

# 広報さくら

◆第107号◆

平成31年3月2日

発行:日本大学明誠高等学校後援会



## 主な内容

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ○ごあいさつ…………… 学校長 …… 2    | ○体育祭…………… 4～7           |
| ○1年を振り返って…………… 会長 …… 3  | ○明誠フェスティバル2018…………… 8～9 |
| ○講演会報告…………… 3           | ○強歩大会報告・強歩大会…………… 10～11 |
| ○「2018私学つどい」のご報告…………… 4 | ○後援会活動報告…………… 12        |



ご卒業おめでとうございます。

お子様が高等学校の課程を無事終了し、ここに新たな出発点に立たれたことを心から祝福申し上げます。

3年前の若木は大地にしっかりと根を張り、養分を吸収し、枝を伸ばし、年輪を刻み、高みに向かって成長をしてきました。そして、その成長は周囲の力、とりわけ陰で支えてこられた保護者の力があってからこそと思います。これまでのご苦勞に敬意を表しますとともに、今後もお子様を「付かず離れず」、適切な距離をもって見守っていただきたいと思います。

平成30年度後援会行事に際しましては、中島会長、高橋・石井・奈良各副会長、森田顧問や総務部・研修部・広報部の各部長並びに委員の皆様更には各学年委員はじめ大変多くの保護者の方々に、本校発展のためにと、絶大なるご協力を賜りましたこと、心から感謝申し上げます。

5月の定期総会から始まり、理工学部での「研修会」、文化祭「バザー・お茶処」、文理学部土屋先生による「講演会」、「体育祭」の応援、「賀詞交歓会」、「強歩大会」トン汁作り、そして二度の「広報さくら」の発刊、役員会・学年別委員会の企画



や運営などなど……枚挙にいとまがありません。

昨年、仏教用語『薰習(クンジュウ)』について書きました。「習慣的に働きかけることで、物に香りが移り染みるように、影響を与える」という意味です。私は後援会活動は、ある意味『薰習』の働きをするものだと思っています。裏方の仕事が多く、生徒には直接関わることは少ないかも知れませんが……。この活動は継続されることにより、生徒の心に、また、保護者の方々の意識に徐々にではあっても、確実に染み込み、変革をもたらす力があると信じています。

本校の後援会組織・活動は「日本一」です。今後この「誇れる後援会」を是非継承していただけたらと衷心よりお願いを申し上げます。

今年の3年生の進路(1/8現在)は、日本大学249名(72%)、他大学68名(20%)、専修学校19名(6%)です。生徒達の頑張りにより、昨年引き続き素晴らしい成果が出ています。一方、現在9名の生徒が入試に挑戦しています。自分に課せられた試練と思い、苦しさの中ですが頑張ること、そして、良い知らせが届くことを心から期待しています。

人は皆それぞれが、かけがえのない存在意義をもってこの世に生を受けました。生徒が今後の人生において、この日本大学明誠高等学校で培った感性や能力を十分に発揮するとともに、有為な社会人として大きく飛翔、ご活躍なさること並びに保護者の皆様のご多幸を教職員一同心より祈念いたします。本当にご苦勞様でした。そして、ありがとうございました。



皆様には日頃より後援会活動にご協力いただき、ありがとうございます。平成30年5月の定期総会に於いて会長という大役に就任してから、早いもので一年が経とうとしています。気付けば平成最後の後援会会長を仰せつかってしまったと感慨深いものがあります。

振り返ると緊張の中での会長挨拶に始まり、6月には最初の事業である日本大学への研修会が行われ、今年度は日本大学理工学部船橋キャンパスへ伺いました。大学からは学部長はじめ先生方に迎え入れて頂き説明会では理工学部の紹介、入試情報、卒業後の進路などのお話を頂きました。施設見学では素晴らしい教育環境を体験し進学を目指す保護者は身を乗り出して耳を傾けていました。

同月に行われた誠祭に於いては明誠の生徒達が日頃お世話になっている地域の方々へ感謝の気持ちを込めて恒例のバザー事業です。毎年楽しみにしていらっしゃる地元の方々から来て頂き交流を図ることが出来たと感じています。多くのバザー品の提供を頂きました保護者の皆様、

サッカー部、野球部の保護者会の皆様、後援会OBの皆様、教職員の皆様に感謝申し上げます。

9月には後援会主催の保護者向け講演会を開催しました。講演では子供との関わり合い肯定感について貴重な講演をして頂きました。

2月には学校行事である強歩大会で14kmを寒い中走ってきた生徒達に豚汁とおにぎりを振る舞い、コース上の安全管理を行いました。雨や雪にも見舞われず、無事施行されました。

最後の事業は、卒業証書授与式後に行われる卒業謝恩会です。現在準備に追われていますが、三年間お世話になった先生方に私たち保護者より感謝の気持とお礼をお伝えして盛大に開催したいと思えます。

最後になりますが、後援会会長として至らぬことが多々あったと思いますが校長先生はじめ教職員の皆様、後援会の皆様のお力をお借りし無事に一年間務めることが出来ました。

心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

## 講演会報告

日大明誠高等学校後援会

平成30年9月8日(土)本校多目的ホールにて、後援会主催の保護者向け講演会が実施されました。講師として日本大学文理学部の土屋弥生先生をお招きして「子供との関わりについて考える一子どもの自己肯定感を高めるために一」というテーマで講演頂きました。

講演では土屋先生より、子どもの考え・行動を認めることが子どもの成長においてとても大切だということをいろいろな事例を挙げて分かりやすくお話頂きました。日ごろ子どもと接し、やってしまっただけではいけなかったんだと反省すべき点も多く、これから活かしていかなければならないととても参考になりました。



土屋先生のお話は感心させられることばかりで時間もあっという間に過ぎ、非常に有意義な講演でありま

した。

当日は多目的ホールに100名を超える保護者の皆様にお集まりいただき、大盛況で講演会を催す事ができました。とても感謝いたします。次回開催もご期待いただければと思います。ありがとうございました。



## 「2018山梨私学のつどい」のご報告

研修部部長 荒木 泉美

後援会研修部として、平成30年9月29日(土)に山梨学院大学のメモリアルホールで行われました「2018山梨私学のつどい」に参加してまいりましたのでご報告いたします。

当日は高尾駅から車3台、上野原から車1台、甲州市から車1台の計5台17名で山梨県甲府市の山梨学院大学に向かいました。

本年度の「2018山梨私学のつどい」は大会スローガンとして

- ・新時代にふさわしい個性豊かな教育の推進
- ・私立学校運営費補助制度の堅持と拡充
- ・教育費保護者負担の公私間格差の是正
- ・保育料低減、幼稚園就園奨励費補助制度の堅持、充実



となっており、山梨県知事はじめ県議会議員・県議会議員並びに県教育委員行政関係の方々をお招きし私学復興の呼びかけを行いました。

会場には約490名の参加者がおり、皆様にご協力いただいた署名簿も知事に手渡されました。

また演題「なぜ今、カリキュラム・マネジメントなのか 現代日本の教育課題」として、東京大学大学院教育学研究科教授の田中智志氏による基調講演も行われ、盛大のうちに終了しました。

中島後援会会長、後援会の方々のご協力により「2018山梨私学のつどい」に参加することができ、また、会員相互のより一層の親睦、交流も図ることができたと思います。



## 体育祭

10月30日

開会式



80m走



# 体育祭

10月30日

色別(ブロック)二人三脚リレー



玉入れ



大縄跳び(2年)



障害物競走



大縄跳び(1年)



棒倒し



# 体育祭

10月30日

### クラス対抗全員リレー



### 部対抗リレー



### 大縄跳び(3年)



ムカデ競争



騎馬戦



台風の日



棒引き

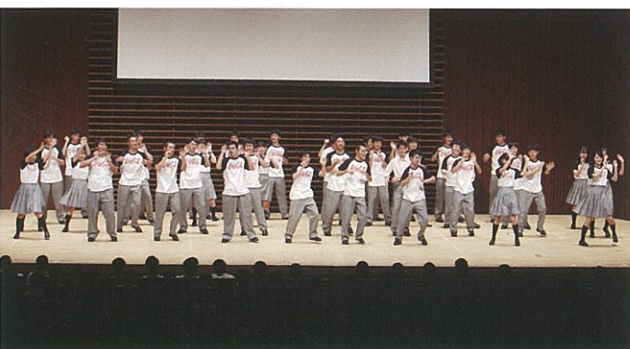
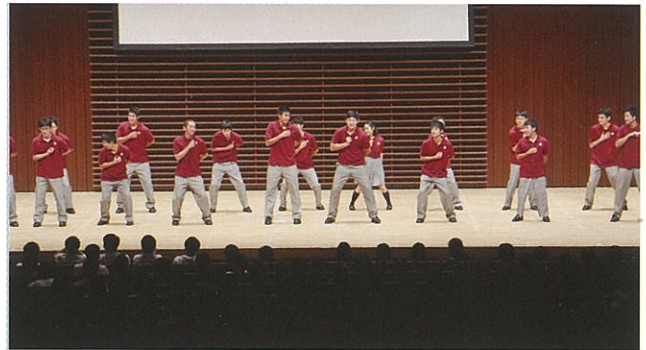


色別(ブロック)対抗リレー

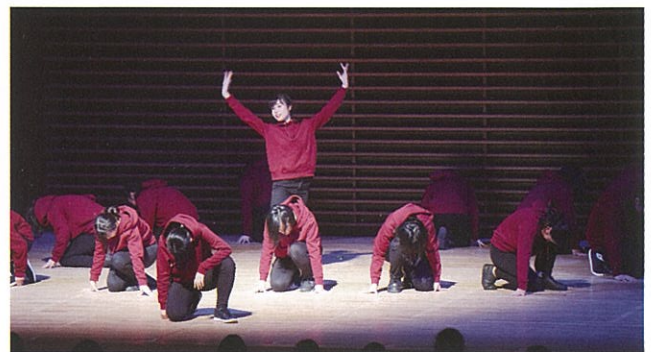
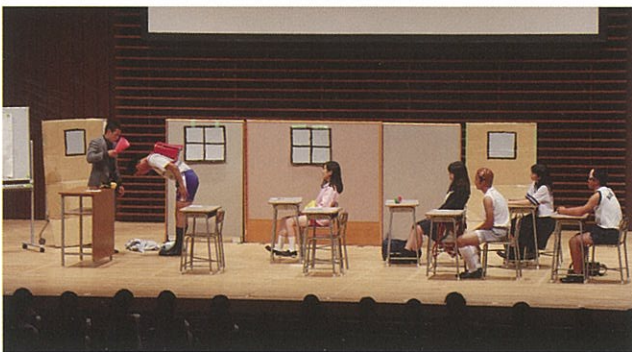
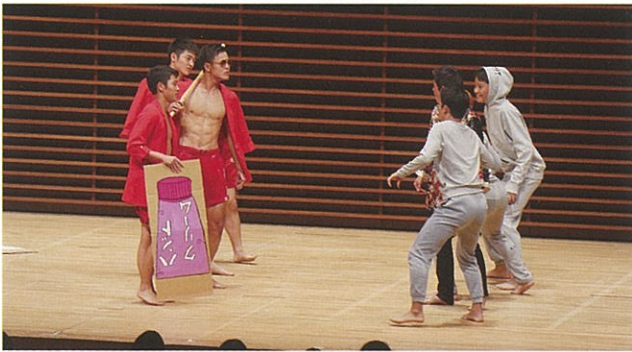
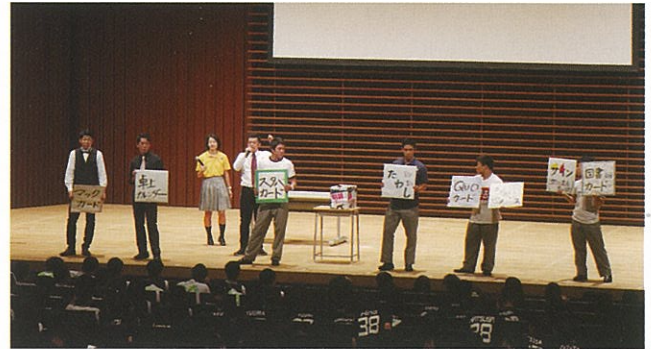
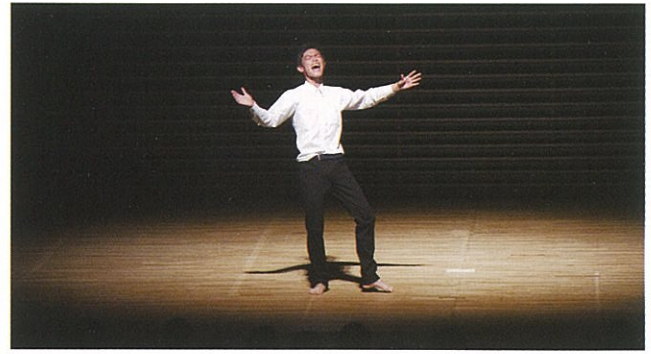


閉会式









## 強歩大会支援活動報告

実行委員長 奈良 智昭

本年度の強歩大会は2月23日(土) 予定通り開催されました。

私たち実行委員会が強歩大会にむけて活動したのは11月でした。11月の学年別委員会において、初めての担当行事であり、強歩大会がどんなもので、どのように後援会が関わるのか分からなかった1学年役員・委員のために、後援会顧問の方からの素晴らしいプレゼンがあり、1学年委員全員で強歩大会のイメージを共有しました。1学年役員・委員が一丸となり大会当日に向けての準備や調整など本格始動したのはそれからでした。

2学年や3学年の後援会委員の皆様からアドバイスを頂いたり、1学年委員で集まり打ち合わせを繰り返したり・・・強歩大会前日までの3ヶ月は、1学年の委員の皆さんには担当決めや行程などきめ細かな調整や準備をして頂き本当に感謝いたします。また、コースでの生徒達の誘導と安全確保につきましても、大勢のサッカー部や野球部の保護者の皆様にもご協力頂きましたこと感謝いたします。

そして大会前日準備。1学年～3学年の後援会

委員の皆さんが、寒い中、冷たい水での食材の洗い物や仕込み、テント張り、当日の段取りなど平日にも関わらず大勢の方に参加して頂いたお蔭で、準備は完璧!!後は、当日を待つだけ!!になりました。

大会当日は、激走する生徒達へ愛情たっぷりの1,000食分の豚汁作りやコースでの安全確保や誘導、応援など行いました。先生方や後援会委員・保護者が連携して強歩大会を大成功で終わることが出来たものと思います。ゴールした生徒達が豚汁とおにぎりを美味しく食べている姿を見ているとこちらまで自然と笑顔になってしまいます。伝統ある強歩大会を通じて、子ども達の成長を肌で感じる事ができたこと、先生方と保護者との親睦が深まったことは、我々保護者にとっても、今後の後援会活動にとっても大きな財産になりました。

最後に大会の支援に協力していただいた役員、委員、保護者の方々、また、運営に尽力くださった先生方に厚く御礼申し上げます。今後とも後援会活動にどうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



# 強歩大会

2月23日





平成30年

- 5月 後援会定期総会  
第1回役員会・委員総会・学年別委員会
- 6月 後援会研修会(日大理工学部訪問)  
誠祭バザー・お茶処 準備  
誠祭バザー・お茶処 実施
- 7月 「広報さくら」発行 106号
- 9月 祭典パトロール  
講演会  
私学のつどい
- 10月 体育祭  
目大明誠フェスティバル2018
- 11月 第2回役員会・委員会総会・学年別委員会

平成31年

- 1月 賀詞交歓会
- 2月 強歩大会豚汁 準備  
強歩大会豚汁 実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会  
「広報さくら」発行 107号
- 4月 入学式  
第3回役員会
- 5月 第4回役員会・後援会定期総会

◆ 編集後記 ◆

今年度も皆様方のご協力により、「広報さくら」を無事に発行することができました。発行にあたり、お忙しい中、原稿をお寄せくださいました先生方、役員の皆様、また、お手伝い頂いた方々に広報部一同、心よりお礼を申し上げます。

日ごろ学校に足を運ぶ機会の少ない保護者の皆様に、少しでも学校と、生徒たちの様子を伝えられればと広報部員一同努めてまいりました。一つでも目に留まった記事があれば幸いです。

これからも皆様楽しんでいただける「広報誌」を心がけ、作成に励んでいきたいと思っております。ご意見、ご感想などお寄せ頂けると幸いです。

一年間ありがとうございました。

(広報部一同)

